

会 議 録

会議の名称	第17回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成28年1月25日(月)
開催時間	午後2時から 3時35分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	高橋直樹(代理者 石倉実希雄)、明野真久、細井将司、鶴岡 洋、高原 昭、佐々木 操、市村春樹、折原茂幸、長谷川 博、石川浩行、宮崎信二、今村典央、神山邦夫、尾崎晴男、中川幸廣、秋葉清一郎 16人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	浅野悦子、中村 仁、島田道太、菅原清孝 4人
説明員の職・氏名	市民生活部 部長 野口仁史 地域振興課 課長 河野 彰 地域振興課 公共交通推進室 室長 大谷昌司 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊 企画政策課 主査 濱田 貴央
事務局職員の職・氏名	市民生活部 部長 野口仁史 地域振興課 課長 河野 彰 地域振興課 公共交通推進室 室長 大谷昌司 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	なし 傍聴者 2名
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 白岡市のりあい交通の運行実績について (2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価(案)について

	<p>(3) 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会歳入歳出予算の補正(案)について</p> <p>(4) 福祉タクシー車両の導入に伴う生活交通改善計画(案)について</p> <p>(5) その他</p> <p>4 閉会</p>
<p>配布資料</p>	<p>会議次第</p> <p>会議資料</p> <p>1 白岡市のりあい交通事業評価用資料(平成26年10月～平成27年9月)</p> <p>2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)</p> <p>3 平成27年度歳入歳出補正予算(第1号)(案)について</p> <p>4 生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 野口市民生活部長の進行により会議が開会した。
秋葉会長	2 挨拶 秋葉会長から挨拶が行われた。
	3 会議事項
	(1) 白岡市のりあい交通の運行実績について
事務局	事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	事務局の説明について、質問等あればお願いしたい。
A委員	資料9ページの乗降場所別累積乗降回数の説明の中で、「白岡整形外科では、実利用人数33人に対して313回の降車利用があり」とあるが、これは少数のヘビーユーザーがいて平均すると一人9回となるのか。
事務局	白岡整形外科の内容については、利用している33人がおおよそ9回前後利用している状況である。
B委員	利用者の個人情報に関わるのでどこまで公表するののだが、どういう方が利用して、どういう方が使わないのなどの資料を用意した方が今後の改善につながると思う。 9ページの乗降場所別累積乗降回数では、降車の利用が多く一方通行型の利用が多いとの説明だったが、これは、8ページの利用頻度のまとめ方に影響する。「〇日に1回」としているが往復で利用すると、1日2回利用することになる。そうすると、「〇日に1回」というまとめ方でよいのか。ピークの「21から31日に1回」は、逆算すると180日に5回から6回使ったということになる。まとめ方は、回数や往復など個人の動き方で考えた

	<p>ほうがよいのではないかと思います。</p> <p>それから、単独で利用したのか、それとも乗り合ったのか、そういう割合を示すデータも欲しいところである。</p> <p>4 ページ上部の地区別の状況について、市全体の構成から図が示されているが、地区の中で何パーセントの人が利用・登録しているのかを示すと、より状況が分かることがあると思う。</p> <p>2 ページを見ると、1 年間の登録者が2, 782人に対して、実利用者が704人とあり、3 ページの利用者の人数を見ると、後半の期間である本格運行期間で594人となっている。その差の約100人は本格運行で利用しなくなった人ということになる。</p> <p>また、登録した中で4分の1程度しか利用されていない。</p> <p>今後、そういうことの理由を説明する資料を検討してはどうか。</p>
秋葉会長	<p>分析の方法などを御指摘いただいた。分かるところがあれば、事務局に回答をお願いします。</p>
事務局	<p>御指摘に感謝する。今後、詳細な分析をしたいと考えている。</p>
秋葉会長	<p>今後も分析の方法などを御指導いただきたい。ほかに質疑はどうか。</p>
C 委員	<p>乗り合い率については、11 ページを参考にすると、40～50%ということではよろしいか。逆に言うと、一人の運行が、半分以上ということか。</p>
事務局	<p>乗り合い率については、その定義がさまざまであり、本市として、どのような定義とするのかまだ定まっていない。運行の内容をよく確認し、改めてお伝えすることとしたい。</p>
秋葉会長	<p>ほかになれば、会議事項の(2)に入ることにしたい。</p>

事務局	<p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について</p> <p>事務局から資料に基づき説明が行われた。</p>
秋葉会長	<p>確認のため、事務局に質問する。3枚目の右側にある「今後の改善点」の中で、「目標値としての1日当たりの利用者数を、平成28年度を30人、平成29年度を25人」とあり、また、「機会を捉えて周知活動を展開していく。」とあるが、これが、改善点ということによろしいか。</p>
事務局	<p>従来活動を継続しながら、利用者数の増加を図りたいということで、そのように表記させていただいた。</p>
秋葉会長	<p>承知した。質疑があればお願いします。</p>
B委員	<p>口頭の説明では、計画期間が3年間とのことであったが、それは平成27～29年度のことなのか。目標値について、最終的に1日当たり40人とのことであったが、資料では平成29年度が35人となっている。どのように理解すればよいのか。</p>
事務局	<p>今回の資料では、平成27年度の事業評価ということで、資料では3年間のうちの残り2年の平成29年度までを記載した。</p> <p>口頭の説明では、今年度、既に提出した計画においては、平成30年度に40人という目標としていることを申し上げた。</p>
D委員	<p>本日の委員には、行政区長の方がいらっしゃる。いろいろな地域から意見を聴いて、今後の改善を図っていくということで、各行政区の総会や役員会でそうしたことについての意見がでていのか伺いたい。意見が出ているのなら、反映されているのか。</p>
E委員	<p>会合等では、こののりあい交通に関する話が出ている。大山地区について、申し上げると、登録者も利用者もともに少なくなっている。地域的に家族構成が2世代以上の世帯が多いことと、例えば、病院については、蓮田病院や伊奈、久喜方面を利用してい</p>

D委員	<p>る人が多く、白岡中央総合病院を利用している方は少なくなっている。そういうことで、蓮田病院など市外に運行できないかという声が多くなっている。</p> <p>西地域でも、蓮田病院を利用している方が多くなっている。この会議で協議して運行内容を決めたので、市内のみの運行ということは承知しているが、のりあい交通を利用しにくい地域もあるということで、市外への運行を今後の課題として検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>のりあい交通は、市内での移動に利用していただく交通機関として道路運送法による許可を得ているところである。市外での運行については、当該自治体やそこで営業している交通事業者との合意形成が必要となってくる。利用者の意見等を確認しながら、将来的な検討事項としたい。</p>
秋葉会長	<p>ほかの方はどうか。</p>
A委員	<p>確認だが、資料2の④については、評価の「A」以外は空欄でよいのか。</p>
事務局	<p>関東運輸局の作成要領によると、評価が「B」あるいは「C」の場合に理由を記入することとされているので、空欄とした。改めて、関東運輸局に確認して提出することとしたい。</p>
A委員	<p>⑤の「目標・効果達成状況」について、数値が目標に到達していないので、そこに重きを置いて「C」という評価にしたと思うが、後半の本格運行を開始してからは、利用者が増加していることを考えると、「B」としてもよろしいのではないかと。</p> <p>また、目標値について、カラーの資料では、平成28年度で30人としているが、現時点で既に到達している数値であり、目標とするならば、今後、目指すべき数値とすべきではないかと。</p> <p>ところで、県においても、地域間幹線の事業で事業評価を実施</p>

事務局	<p>しているが、別添1-2という資料を提出している。本事業評価でも提出が必要なのではないか。</p> <p>目標・効果達成状況については、当協議会の審議事項であるので、委員の皆様で協議の上、決定していただきたい。</p> <p>目標値については、平成28年度の計画を既に提出しているので、その計画を基礎として記述したため、このような内容となっている。</p> <p>別添1-2という様式については、関東運輸局に確認し、必要であれば提出させていただく。</p>
F委員	<p>目標の数字の設定については、頑張れば届くところとし、無理な設定はしないということである。3年間の計画であるので、どのように目標に到達するか、具体的には1年で5人増やすために何をするのかを持ち合わせる事が大事である。</p>
秋葉会長	<p>それでは、評価について、「B」でよいのではないかという意見をいただいたが、どのように考えるか。意見をいただきたい。</p>
D委員	<p>一般的に評価の方向性として、厳しい方がよいのか、それとも甘くした方がよいのか。</p>
F委員	<p>白岡市の協議会が精一杯努力してきた結果ということで、「B」の評価とすることでよろしいのではないか。関東運輸局から評価の修正の指導があるかもしれないが、当協議会では努力してきたことを自己評価すればよろしいと考える。</p>
秋葉会長	<p>「B」は一部未達成、「C」は未達成という説明があった。未達成とすると、全く達成していないとなる。利用者が伸びてきていることを考えると、「B」に修正して提出するという事によろしいか。</p> <p>また、目標値については、5月に改めて協議するという事によろしいか。</p>

出席委員	異議なし。
秋葉会長	それでは、そのような形で提出することとしたい。
	(3) 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会歳入歳出予算の補正(案)について
事務局	事務局から資料に基づき、説明がなされた。
秋葉会長	質疑があれば、お願いしたい。
	(質疑なし)
秋葉会長	質問がないようなので、原案のとおり決定させていただく。
出席委員	異議なし。
	(4) 福祉タクシー車両の導入に伴う生活交通改善計画(案)について
事務局	事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	本会議事項については、当協議会委員である白岡タクシー(株)G委員の利害関係に関わる事項であるが、引き続き会議に参加してよいか。
出席委員	異議なし。
秋葉会長	それでは、事務局の説明について、質問等があればお願いしたい。
G委員	この計画では、福祉車両を増車する方向で記載されているが、弊社では、通常のセダンタイプと入れ替えて運用したいと考えていた。確認が不足していたが、購入予定の車両では、8ナンバー

	<p>の登録となる。通常の営業に使用できるのか確認したい。</p>
秋葉会長	<p>念のため申し上げますと、本計画については、成立しなければ、白岡タクシーが補助金の交付申請をできなくなることから、会議事項となっているものである。</p>
D委員	<p>そうすると、車両の所有者は、白岡タクシーとなるのか。車両のイメージとしては、デイサービスで使用している車両のようなものか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
D委員	<p>「できることは、協力したい。」の一言に尽きるのではないか。</p>
秋葉会長	<p>この協議会で、協議いただいた計画を出さなければ、補助金の対象とならない。当協議会でも支援していきたいということで、計画内容について、白岡タクシーの都合に合わせて、一部、変更となるかもしれないが、計画の趣旨は変わらないということで承認してよろしいか。</p>
出席委員	<p>異議なし。</p>
佐々木副会長	<p>4 閉会 佐々木副会長が閉会を宣した。</p>